

補助事業番号 20-49

補助事業名 平成20年度機械工業の経営及び関連する経済に関する調査等補助事業

補助事業者名 財団法人 機械振興協会 経済研究所

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

わが国機械情報産業は、人口減少社会、グローバル化、モノづくり人材、中小企業の活性化、環境問題等、様々な問題に直面している。そこで、本年度は、社会システムの転換期に対応した構造革新の推進を図るため「転換期におけるモノづくり企業の事業継続力と新市場展開」に焦点を当て、事業に取り組んだ。

(2) 実施内容

①図書館機能の多様化に向けての情報システム整備

[機械工業図書館](#)は、機械工業という業種に特化しており、雑誌、参考図書をはじめ、機械関連の各種団体報告書、工業会統計などの資料を収集し、公開を行っている他に類をみない専門図書館である。この長年にわたる情報の蓄積を、データベース化し、ホームページ上で書誌情報の検索を可能にした。インターネットを通じ、機械工業図書館の所蔵情報を広く提供することにより、来館による利用が増加する可能性もある。

②機械情報産業の持続的成長条件と産業組織・経営革新等に関する調査研究

[「モノづくり企業の成長・発展プロセスと事業継続力の強化」](#)

[「光電系エコデバイスを例とした各地域の振興策の新たな広域連携調査」](#)

[「サービスロボット普及に向けた社会環境整備に関わる調査」](#)

[「モノづくり産業の新規創業における“中高年起業家”の実態と可能性」](#)

[「日本発のLSIが日本と世界にもたらす価値に関する調査研究」](#)

③機械情報産業のアジアを始めとするグローバル展開等に関する調査研究

[「デジタル家電産業等におけるグローバル活動の新展開と国際競争力」](#)

[「中国の社会インフラ\(技術標準・流通構造\)と日系企業への影響」](#)

[「機械製造業のアジア展開に伴う物流システムの高度化に関する調査研究」](#)

[「ASEANのFTAによる域内及び対日貿易への影響」](#)

④機械情報産業におけるモノづくり基盤等の強化に関する調査研究

[「日本自動車メーカーのグローバル化を支える国内生産能力強化の方向性と課題」](#)

[「ナノ加工技術の進展が機械製造業に与えるインパクトに関する調査研究」](#)

⑤機械情報産業の環境・資源・エネルギー対応等に関する調査研究

[「光電系エコ・デバイス産業で日本が世界的に成功するための条件・方策」](#)

[「欧米環境・有害物質規制の展開が固体表示・照明器市場に与える影響調査研究」](#)

[「太陽光発電システム及び太陽電池関連機器市場と将来展望」](#)

[「電線リサイクルの流通経路と経済性に関する調査研究」](#)

[「機械情報産業の海外進出に伴う資源循環ビジネスの可能性調査」](#)

[「情報通信事業の省エネルギーに向けた新たな取り組みに関する調査」](#)

⑥機械情報産業における中堅・中小企業の競争力強化に関する調査研究

[「地域経済活性化におけるエマージング型中小企業の実態と可能性」](#)

[「大規模災害に対する中堅中小企業の事業継続セーフティネット調査」](#)

[「航空宇宙産業における人材育成活用に向けたネットワーク構築」](#)

⑦機械情報産業の諸制度及び長期展望等に関する調査研究

[「変容する顧客の価値・ビジネスに対応した機械関連産業の取り組みと今後の展開」](#)

[「東アジア機械関連統計の比較・接合に関する調査研究」](#)

[「人工視覚に関する技術開発における医工連携体制の日米欧比較調査」](#)

[「中小製造業のリスク管理と地域支援のあり方に関する調査研究」](#)

⑧成果の普及

各プロジェクトの円滑な進捗を図るため、プロジェクトの調整・管理を中心に事業全体の取りまとめを行った。また、研究成果の評価業務として、有識者からなる評価委員会を開催するとともに、成果としての各調査研究プロジェクトの報告書等の印刷・配布等を行い、さらに、成果を普及するための講演会、報告会等を開催した。

2. 予想される事業実施効果

本年度は、我が国機械情報産業の「転換期におけるモノづくり企業の事業継続力と新市場展開」に焦点をあて、幅広い観点から機械産業の現状、課題、施策等を調査し、その成果を取りまとめた各報告書及び他の資料等は、機械業界、関連業界などに対する有用な経営等の基礎資料として活用されている。また、これらの成果は、今後の研究内容の向上と時宜に応じたテーマを設定するために評価委員会で内容等を審議し、成果の評価を行った。

さらに、調査研究成果を直接一般に公表する「[機械情報産業講演会（秋田市/平成 20 年 9 月 29 日開催）](#)」及び「[機械情報産業研究報告会（東京/平成 21 年 3 月 26 日開催）](#)」では、研究成果をベースとして、最近の経済・社会情勢や地域開発と企業経営問題を報告したことから、多数の参加者を得、それぞれ活発な質疑がなされた。調査研究成果を含む研究所全体の事業成果は業界発展に有用な情報として[ホームページ](#)で公表するなど、様々な形態で広範囲に成果の普及を行い、今後、その活用が期待できる。

3. 本事業により作成した印刷物

報告書・資料名

[「モノづくり企業の成長・発展プロセスと事業継続力の強化](#)

[— 企業は如何にして危機を乗り越えてきたか」](#)

- 「[光電系エコデバイス産業の創造に向けた研究開発と広域連携のあり方](#)
 — [薄膜系太陽電池産業の国際競争力強化と新ビジネス創造に向けて](#)」
- 「[サービスロボット普及に向けた社会環境整備に関わる調査](#)」
- 「[モノづくり産業の新規創業における“中高年起業家”の実態と可能性](#)」
- 「[日本発のLSIが日本と世界にもたらす価値に関する調査研究](#)」
- 「[デジタル家電産業におけるグローバル活動の新展開と国際競争力](#)」
- 「[中国の技術標準及び流通構造の変化が日系電機メーカーに与える影響](#)」
- 「[機械製造業のアジア展開に伴う物流システムの高度化に関する調査研究](#)」
- 「[ASEANのFTAによる域内及び対日貿易への影響](#)」
- 「[日本自動車メーカーの海外展開と国内基盤強化の方向性](#)」
- 「[ナノ加工技術の進展が機械製造業に与えるインパクトに関する調査研究](#)」
- 「[光電エネルギー変換半導体の産業生態系養生に向けて](#)
 — [光電による固体照明と光電による有機系太陽電池から成る新産業](#)」
- 「[欧米環境・有害物質規制の展開が固体表示・照明器市場に与える影響調査研究](#)
 — [日本の照明産業の技術を世界規模の競争で活用するために](#)」
- 「[太陽光発電システム市場の将来展望と普及支援策の考察](#)」
- 「[電線リサイクルの流通経路と経済性に関する調査研究](#)」
- 「[アジア諸国における国際資源循環ビジネス可能性調査](#)」
- [希土類磁石向けレアアース・超硬工具向けタングステンを中心として](#)」
- 「[グリーン・ネットワークの動向と新たな省エネビジネスの展望](#)」
- 「[国内中小製造業におけるネットワークの創発と取引多様化戦略](#)」
- 「[大規模災害に対する中堅中小企業の事業継続セーフティーネット調査](#)」
- 「[航空宇宙産業における人材有効活用に向けたネットワーク構築](#)」
- 「[変容する顧客の価値・ビジネスに対応したモノづくりの取り組みと今後の展開](#)
 — [機械関連産業の新たな発展に向けた価値創出への視点](#)」
- 「[東アジア機械関連統計の比較・接合に関する調査研究](#)」
- 「[先進的医療機器の研究開発における医工連携の日米欧比較調査](#)」
- 「[中小製造業のリスク管理と地域支援のあり方に関する調査研究](#)」
- 「[調査研究評価委員会資料（平成20年度）](#)」
- 「[講演会テキスト・パンフレット（秋田県秋田市）](#)」
- 「[報告会テキスト・パンフレット（東京都港区）](#)」
- 「[機械経済研究 No.40](#)」
- 「[Engineering Industries of Japan No.43（英文機関誌）](#)」
- 「[平成20年度 機械工業経済研究報告書要約集](#)」

4. 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 財団法人 機械振興協会 経済研究所
(キカイシンコウキョウカイ ケイザイケンキュウシヨ)

住 所 : 105-0011
東京都港区芝公園 3 丁目 5 番 6 号

代 表 者 : 会長 庄山 悦彦 (ショウヤマ エツヒコ)

担当部署 : 企画管理室

担当者名 : 企画管理室長 宮本 光一郎 (ミヤモト コウイチロウ)
企画管理室 吉村 泰子 (ヨシムラ ヤスコ)

電話番号 : 03-3434-8251

FAX 番号 : 03-3434-3696

E-mail : yosimura@eri.jspmi.or.jp

U R L : <http://www.eri.jspmi.or.jp>